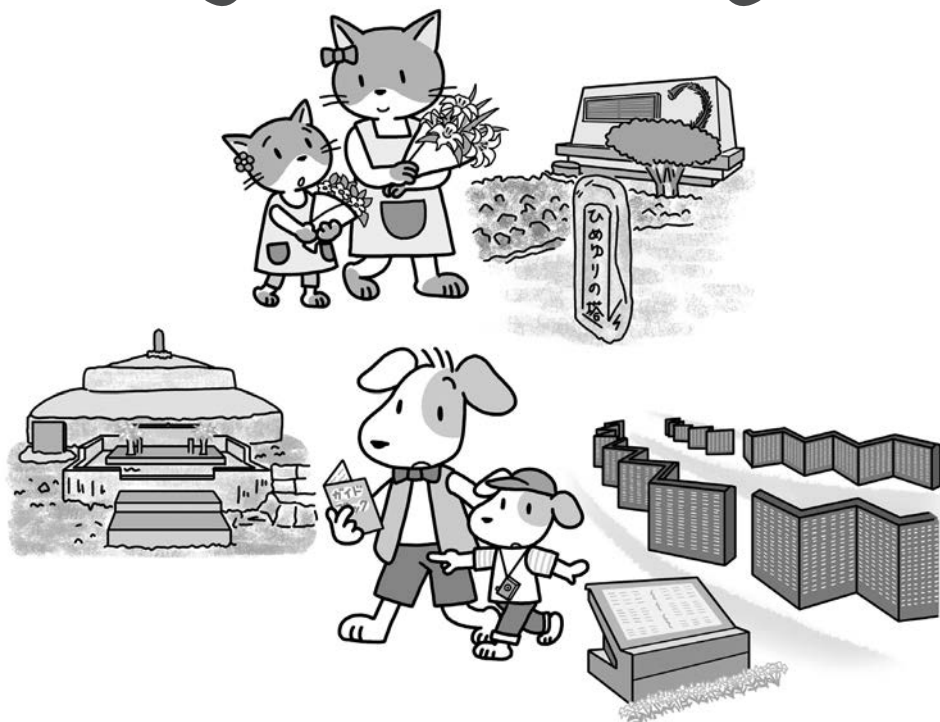


ピースアクション in オキナワ
第41回

沖縄戦跡・基地めぐり
参加のしおり

2024年3月27日～3月29日



日本生活協同組合連合会
沖縄県生活協同組合連合会



も く じ

ピースアクション in オキナワ 第41回沖縄戦跡・基地めぐり

2024年3月27日(水)－ 3月29日(金)

●参加にあたってのお願い p.1

●注意事項 p.2~3

持ち物について
行動について

●宿泊および3月27日全体会のご案内 p.4~5

受付について… ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城「^{しゅり}首里の間」
宿泊手続きと食事について
おみやげなどの購入について

●企画の概要、戦跡・基地めぐりのご案内 p.6~7

開催目的
沖縄本島広域地図、戦跡・基地めぐりのご案内

●日程表

全体会スケジュール(3月27日)	p.8~9
しっかり学ぼうコース (見学のポイント、3月28日~29日)	p.10~13
ゆっくり学ぼうコース (見学のポイント、3月28日~29日)	p.14~17

●沖縄の学習 p.18~36

沖縄の地理・気候／沖縄の文化
沖縄と日本と世界の主な出来事
沖縄戦について／沖縄の米軍基地／戦後から沖縄返還まで
沖縄の米軍基地はどのようにして造られたのか
米軍基地による問題／辺野古新基地建設問題(普天間飛行場移設問題)
2019年沖縄県民投票から考える

●沖縄についてまとめてみましょう p.37

参加にあたってのお願い

このたびは、ピースアクション in オキナワ～第41回沖縄戦跡・基地めぐり～にご参加いただき、ありがとうございます。このしおりは、全体のスケジュールや注意事項を記載しています。事前によく読んでご参加ください。

QRコードのホームページやSNSにも情報掲載しています。
ぜひご覧ください。

ピースアクションin
オキナワ特設サイト▶



1. 「参加のしおり」をよく読んで必要な準備をしましょう。

2. ガイドさんのお話をよく聞いて、しっかりと学習しましょう。

2・3日目のガイドは、平和ガイドとして活躍されているみなさんをお願いしています。情報量がたいへん多いので、メモを取り、しっかり学習しましょう。また、現地沖縄でより効果的な学習ができるよう、「おきなわ戦 戦跡ガイドブック」(コープおきなわ発行：青色の冊子)や後半の学習資料などで事前学習をしておきましょう。

3. 沖縄について、学んだことをふりかえりましょう。

ご家庭に戻ってから、学んだことをふりかえりましょう。沖縄の歴史や戦争体験、平和の大切さを次世代にどうつなげていけばいいと思いますか。感想を出し合いながら話し合ってみましょう。TwitterなどSNSにも発信してみましょう。

4. 生協で開催される報告会などで学んだことや感想を伝えていきましょう。

* 学んだことをSNS投稿してみよう！

現地の様子や感想をぜひSNSに「#okinawa_c41」をつけて投稿してみましょう！



内容をお読みになり、ご不明な点等はお気軽に日本生協連までお問い合わせください。

●お問い合わせ先 日本生協連 社会・地域活動推進部 組合員活動グループ
kumikatsu@jccu.coop TEL 03-5778-8124
(月～金曜 10:00～17:00 土・日・祝はお休み)

注意事項

限られた日程の中での行動となります。出発前の体調を整えていただくとともに、次の点をご確認の上、ご参加いただくようお願いいたします。



持ち物について

参加のしおり おきなわ戦戦跡ガイドブック など、事前学習資料	スケジュールや注意事項を事前にお読みください。
動きやすい服装 歩きやすい靴 長袖シャツなどの上着 帽子	ジーンズなど動きやすく、汚れても良い服装 滑りにくく、はき慣れた靴（ヒール等をご遠慮ください） 温度調節ができる上着 日差しをさえぎる帽子
懐中電灯・軍手  双眼鏡（必要な方のみ）	糸数壕に入るときに使用。一人ずつ用意。 基地を見学するときを使用。 
雨具	よくにわか雨が降ります。携帯雨具を用意。
薬	常用薬、乗り物酔い防止薬 など
保険証	念のためお持ちください。
レジャーマット	2日目の昼食時に使用します。
現金など ※支払方法が現金のみの 場合もあります。	1日目と3日目の昼食、2日目の夕食は各自となります。 その費用のほかにお土産代、交通費などをお持ちください。

※フィールドワークのコースによっては、持ち物の一部を使用しないことがあります。ご了承ください。

当日配布資料

名札・名札ケース	乗車するバスは1日目（3/27）に配布するネームプレートでご確認ください。 受付時にお渡しします。沖縄戦跡・基地めぐりの間はつけてください。
講演資料ほか	



行動について



- ◆スケジュールや集合・出発時間などは必ず事前にご確認ください。
 - ◆集合・出発時間など時間厳守をお願いします。
 - ◆ホテルの正面入口・フロントは、建物の4階になります。
2・3日目の集合場所は2階になりますのでご注意ください。
 - ◆朝、ホテルのエレベーターは大変混雑します。特に3日目はチェックアウトをしてからの出発になります。時間に余裕を持って早めの行動をお願いします。
 - ◆団体行動を基本としています。個人行動はご遠慮ください。
 - ◆行動中は、事務局やガイドの指示に従ってください。
 - ◆会場内とバスの車内は禁煙です。
-
- ◆2日目、3日目は、貸し切りバスで移動します。
 - ◆悪天候や特別な状況などを除き、バスから降りて視察します。
 - ◆バスはお乗り間違えのないよう注意してください。
特にお子さんのご乗車には、充分気をつけてください。
 - ◆糸数壕はサンダル・ヒール等では入壕できません。また壕内部の撮影は禁止されています。
 - ◆写真・映像撮影ができない施設があります。詳しくは事務局にご確認ください。
-
- ◆ひとつの生協で複数人数ご参加の場合は、参加コースごとに責任者を決めてください。
 - ◆体調管理には十分に注意してご参加ください。

沖縄ミニ知識

◎沖縄の3月～4月の天候と気温



3月は「二月風廻り」（ニンガチカジマーイ）と呼ばれる低気圧が発生し、風の強い日が多くなります。一方4月は「うりずん」と呼ばれ、沖縄でもっとも過ごしやすい季節と言われています。3～4月は、暑い日は25度を超えますが、寒い日だと15度ぐらいまで下がります。Tシャツでも歩けますが、長袖シャツや上着など羽織れるものを準備しておいたほうがいいでしょう。

◎石敢當（いしがんと）：魔除けの石碑。街角にたくさん建てられている。

◎沖縄の言葉（うちなーぐち）

※いろいろあるよ。自分で調べてみよう。

めんそーれ ▶ いらっしゃいませ

はいさい ▶ こんにちは

にふえーでーびる ▶ ありがとうございます

まーさいびーん ▶ おいしい

くわっちーさびら ▶ いただきます

くわっちーさびたん ▶ ごちそうさまでした

宿泊および3月27日全体会のご案内

場 所

ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城

沖縄県那覇市首里山川町1-132-1 TEL 098-886-5454

■交通アクセス

●タクシー ⇨ 那覇空港から約30分 (2,500円程度)

●ゆいレール ⇨ ① 那覇空港駅 → 安里駅^{あさと}まで約18分 (300円)

※交通系ICカード
使用可

→ 安里駅からタクシーで約10分 (900円程度)

② 那覇空港駅 → 首里駅まで約27分 (340円)

→ 首里駅からタクシーで約5分 (800円程度)

※首里駅から徒歩約20分



受付について

※ホテルのフロントでは行いません。

- 3月27日、ダブルツリー by ヒルトン那覇首里城 2階「首里の間」前で、各生協の責任者は受付をお願いします。
- 受付では、参加人数とお名前の確認、当日資料、名札の受け取りがあります。
- ホテルフロントでの事前チェックインはできません。荷物は2階「守礼の間」前でご案内します。



宿泊手続きと食事について

- 外出時の鍵の管理は各自でお願いします。
- 各部屋の電話・冷蔵庫・洗濯などのルームサービスは、各自で精算してください。
- 期間中に用意するお食事は以下のとおりです。

	3月27日	3月28日	3月29日
朝 食	—	ダブルツリー by ヒルトン 那覇首里城	ダブルツリー by ヒルトン 那覇首里城
昼 食	—	弁当	—
夕 食	全員で懇親会	—	—

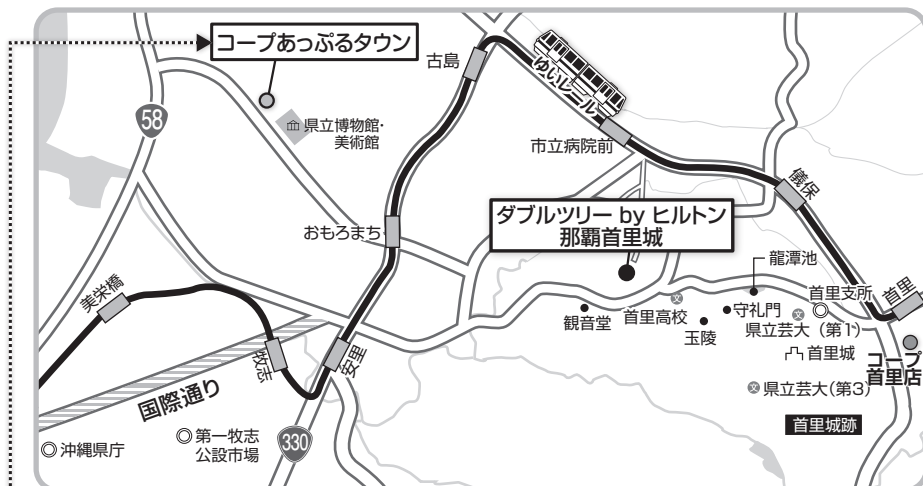
※ホテル内の売店は、7時30分～22時まで

※近隣にコンビニはありません。

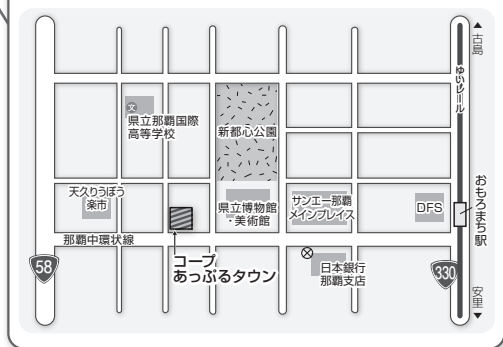
※朝食は、朝6時30からお食事です。



ホテル周辺地図



那覇市おもろまち3丁目3-1 ●TEL：098-941-8020
●平日：朝9時～夜10時 ●アクセス：ホテルからタクシーで約15分



- 国際通り：ホテルから徒歩40分。那覇市のメインストリートで、約1.6kmの道の両側に観光土産物店、沖縄料理店、デパートなどが軒を連ね、最も活気のある通りです。
- コープあつがるタウン：コープおきなわの店舗で、2003年12月に那覇新都心にオープン。コープおきなわでは初めての複合のお店で、コープ以外のテナントも沢山。2016年10月、リニューアルオープンしました。
- コープ首里：1994年4月にコープおきなわ一号店としてコープ首里が誕生致しました。



おみやげなどの購入について

行程の中では、おみやげなどの購入に時間を割くことができません。

下記の情報なども参考にしながら、お買い求めください。

- 国際通り周辺のお店は、夜10時頃まで営業しています。
- 那覇空港には売店が多数あります。
- コープおきなわの店舗には、食品を中心として沖縄独特の商品やコープ商品があります。お酒（泡盛）などもあります。

企画の概要

◎開催目的

テーマ

「沖縄から学ぶ 過去・現在・未来」

- 1 住民を巻き込んだ地上戦の歴史と米軍専用施設の70.3%が集中する沖縄の現状を学びます。
- 2 現在の沖縄における諸問題や、これからの平和をめぐる課題について考えあう機会とします。
- 3 親子や次世代が平和をつなげようという意識をもつきっかけとします。



沖縄本島広域地図



各コースのご案内

しっかり学ぼうコース

沖縄戦や基地問題について幅広く学ぶことができる内容としています。住民を巻き込んだ沖縄戦はなぜ国内唯一の地上戦の地となったのか、どのような状況下で住民は戦中を生きたのか、戦後占領下におかれ、その後も米軍専用施設が集中する沖縄で日々くらす中の問題や現在の論点は何かなど、戦跡・基地をめぐりながら考えます。

※コースの詳細は10～13ページにあります。

ゆっくり学ぼうコース

戦跡を中心に学ぶことができる内容としています。沖縄の地上戦ではすべての男女中等学校の生徒たちが動員され、多くが犠牲となりました。なぜ少年少女が戦争に巻き込まれ犠牲となったのか、どれほど過酷な日々を過ごしたのか、ゆかりある戦跡・資料館を中心に訪問します。

ゆとりをもったスケジュールで、子どもからシニアまで幅広い年代の方におすすめです。

※コースの詳細は14～17ページにあります。



現地の事情やスケジュールの都合で、当日の時間割や見学場所が変更になる場合があります。その都度お知らせします。



3月/27日(水)

全体会スケジュール

13:00~14:00

■ 受付 2階^{しゅり}「首里の間」前

14:00~14:05

■ 司会あいさつ

14:05~14:10

■ 主催者あいさつ（日本生協連・新井副会長）

14:10~15:20

■ 学習講演会（60分）＋質疑（10分）
「沖縄戦・在沖米軍基地から平和について考える
ーフィールドワークに行く前に考えたいことー」

講師：琉球大学 教育学部 副学部長

山口 剛史さん



●プロフィール

1971年福岡県生まれ。2004年より琉球大学教育学部にて勤務。専門は、社会科教育学、平和教育、離島へき地教育。大学では、小学校、中学校の教員養成に携わりながら、沖縄県内の学校を中心に平和学習の出前授業などを実施している。

▼ 休憩（10分）

15:30~16:30

■ 講演（60分）

「那覇市繁多川の住民が見た沖縄戦」

講師 右：波平 元維さん

左：南 信乃介さん



●波平 元維さんプロフィール

（ハンタガーヌ旗振やーすぐりむん）

那覇市繁多川出身。繁多川自治会長、真和志地区老人クラブ 連合会副会長を歴任。現在NPO法人1万人井戸端会議理事。沖縄戦は6歳で経験。家族で繁多川から沖縄本島南部へ戦禍を逃げた。小中学校平和学習講演多数

●南 信乃介さんプロフィール

（特定非営利活動法人 1万人井戸端会議 代表理事那覇市繁多川公民館 館長）

沖縄県那覇市出身。京都精華大学環境社会学科で持続可能な暮らしの調査や市民参加まちづくりの基礎を学ぶ。公民館では聞き取りをベースにし地域の誇りを実感しながらの社会教育活動を実践。聞き取った沖縄戦に関する話を、活かして壕の調査、展示、シンポジウム、演劇活動にも携わる。その公民館運営経験を文部科学省「日本型教育の海外推進展開事業」としてエジプトでの公民館づくりの責任者も務めている。繁多川公民館は文部科学省優良公民館表彰2回、相互評価特別賞(2019)受賞、地域再生大賞(2021)。

▲南 信乃介さん

▲波平 元維さん

● 会場：ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城 2階「^{しゅり}首里の間」と「^{しゅれい}守礼の間」

16:30~16:55

■ 大学生からの報告（25分）

報告者：吉村 珠李さん（大学生協連
Peace Now! Okinawa 実行委員）



山口県生まれ。宮崎大学農学部在学。24年3月卒業予定。
大学生協で平和活動を行い、大学生協のPeace Now! Okinawaと
いう平和を考えるゼミナールで企画作成担当。

▼ 休憩（10分）

17:05~17:40

■ 参加者交流会

グループごとに交流

グループに分かれて、学習講演会の感想や参加に当たって期待して
いることなどをお互いに交流します。

17:40~17:45

■ 事務局連絡

17:45~18:30

■ ホテルチェックイン

18:30~20:00

■ 夕食懇親会／会場：2階「^{しゅれい}守礼の間」

- ・ 懇親会開会の言葉、乾杯（沖縄県生協連・川越会長）
- ・ 琉球舞踊・カチャーシー等、沖縄伝統文化



写真は2019年の様子▶

しっかり学ぼうコース

3月/28日(木)

A コース

8:30	集合 2階
8:40	出発
	↓ バス移動20分 
9:00~10:10	か かすたかだい 嘉数高台 (普天間基地) 〈70分〉
	↓ バス移動40分  ●伊芸SA (トイレ休憩)
10:50~11:00	砂辺馬場公園 〈10分〉 ●バスの車窓から見学
	↓ バス移動20分 
11:20~12:30	道の駅かでな 〈70分〉 ●昼食休憩含む
	↓ バス移動20分 
12:50~13:20	チビチリガマ 〈30分〉
	バス移動80分  ●伊芸SA (トイレ休憩)
14:40~15:30	辺野古テント村 〈50分〉
15:45~16:15	せ だけ 瀬高の浜 〈30分〉
	↓ バス移動90分 
17:45	ホテル着 ●以降自由時間、夕食はフリー

B コース

8:30	集合 2階
8:40	出発
	↓ バス移動90分  ●伊芸SA (トイレ休憩)
10:10~11:00	へ の こ 辺野古テント村 〈50分〉
	↓ バス移動15分 
11:15~11:45	せ だけ 瀬高の浜 〈30分〉
	↓ バス移動35分 
12:20~13:00	🍴 昼食休憩 〈40分〉 ●伊芸サービスエリア
	↓ バス移動30分 
13:30~14:00	チビチリガマ 〈30分〉
	↓ バス移動20分 
14:20~15:00	道の駅かでな 〈40分〉
15:20~15:30	砂辺馬場公園 〈10分〉 ●バスの車窓から見学
16:10~17:20	か かすたかだい 嘉数高台 〈70分〉
	↓ バス移動40分 
18:00	ホテル着 ●以降自由時間、夕食はフリー

しっかり学ぼうコース

3月/29日(金)

A コース

8:20 集合 2階

8:30 出発

↓ バス移動40分 

9:10~11:10 〈計120分〉

いしじ
平和の礎 〈40分〉

県立平和祈念資料館 〈80分〉

これらは県立
平和祈念公園内
になります。

↓ バス移動20分 

11:30~12:30

いとがすこう
糸数壕 (アブチラガマ) 〈60分〉

※壕 (自然洞窟) の中へ入ります。
懐中電灯、軍手を各自必ずご用意ください。



↓ バス移動30分 

13:00

那覇空港着

B コース

8:20 集合 2階

8:30 出発

↓ バス移動30分 

9:00~10:00

いとがすこう
糸数壕 (アブチラガマ) 〈60分〉

※壕 (自然洞窟) の中へ入ります。
懐中電灯、軍手を各自必ずご用意ください。



↓ バス移動20分 

10:20~12:20 〈計120分〉

いしじ
平和の礎 〈40分〉

県立平和祈念資料館 〈80分〉

これらは県立
平和祈念公園内
になります。

↓ バス移動40分 

13:00

那覇空港着

※訪問場所は同じですが、A・Bコースで順路が異なります。
A・Bコースは事務局で割りふります。ご了承ください。



MEMO

道の駅かでな

物販店やレストランなどがある道の駅ですが、極大規模である嘉手納空軍基地を一望できる屋上展望場と学習展示室があります。ここでは、沖縄の歴史や日常風景を感じることがができます。



チビチリガマ

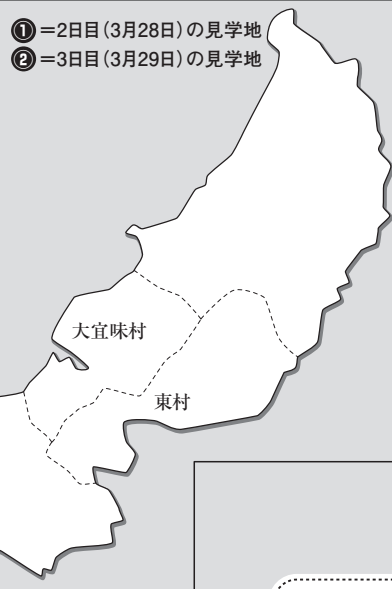
沖縄県中頭郡読谷村波平にある鍾乳洞。1945年、沖縄戦における集団自決が行われた場所。



嘉数高台(普天間基地)

嘉数高台は首里の軍司令部を守るため、その一帯に第一防衛線として陣地を構えました。そのため沖縄戦でもっとも激しい戦いが行われ、4月8日からの16日間にわたる戦いで、日米両軍に多くの死傷者が出ました。現在は、宜野湾市の中央部に米軍の普天間基地があり、嘉数高台公園にある地球型展望台からそこを見下ろすことができます。





①=2日目(3月28日)の見学地 ②=3日目(3月29日)の見学地

へ の こ せ だ け 辺野古(テント村)・瀬高の浜

1995年の沖縄米兵少女暴行事件を契機に、沖縄の米軍基地に反対する運動や普天間基地の返還要求運動が起こり、1997年には名護市辺野古付近への移設案が決まりました。

その後、辺野古の海の埋め立てに対し反対の声が上がり、20年以上たった今もまだ普天間基地はそのままです。現在も県外移設を求める県民の間で激しい議論が交わされています。一人ひとりがこの基地問題を、沖縄だけのことではなく自分のこととして考えることが大切です。



いと か す ご う

糸数壕(アブチラガマ)

もともとは糸数集落の避難指定壕でしたが、戦場が南下するにつれて南風原陸軍病院の分室となりました。軍医、看護婦、ひめゆり学徒隊が配属され、全長270mのガマ内は600人以上の負傷兵で埋め尽くされました。

1945年5月25日、南部への移動命令が出され、重症患者や糸数の住民が残されました。



い し じ 沖縄県平和祈念資料館・平和の礎

新しい沖縄県平和祈念資料館は2000年4月1日に開館しました。この資料館は「平和の礎」と一体になって、恒久平和の実現を願って平和祈念公園に建設されました。礎には、国籍や軍人、非軍人を問わず沖縄戦で亡くなった人々の名が刻まれ、今も刻銘が続いています。



ゆっくり学ぼうコース

3月/28日(木)

A コース

8:50 集合 4階

9:00 出発

↓ バス移動20分 

9:20~10:10 か かすたかだい
嘉数高台公園 (50分)

↓ バス移動70分 
●伊芸SA (トイレ休憩)

11:20~12:10 (50分)

へ の こ
辺野古テント村
せ だ け
瀬高の浜

↓ バス移動10分 

12:20~13:20  昼食休憩 (60分)
●わんさか大浦パークで昼食

↓ バス移動80分 
●伊芸SA (トイレ休憩)

14:40~16:40 (120分)

は え ば る
南風原文化センター

↓ バス移動20分 

17:00 ホテル着

B コース

8:50 集合 4階

9:00 出発

↓ バス移動20分 

9:20~11:20 (120分)

は え ば る
南風原文化センター

↓ バス移動20分 

11:40~12:40  昼食休憩 (60分)

●嘉数高台で昼食

12:40~13:40 か かすたかだい
嘉数高台公園 (60分)

↓ バス移動70分 
●伊芸SA (トイレ休憩)

15:00~15:50 (50分)

へ の こ
辺野古テント村
せ だ け
瀬高の浜

↓ バス移動70分 
●伊芸SA (トイレ休憩)

17:00 ホテル着

ゆっくり学ぼうコース

3月/29日(金)

A コース

8:20 集合 4階

8:30 出発

↓ バス移動30分 

9:00~11:00 〈120分〉

ひめゆりの塔・
ひめゆり平和祈念資料館

↓ バス移動10分 

11:10~12:10 〈60分〉

こんぼく
魂魄の塔(献花)
米須海岸

↓ バス移動40分 

12:50 那覇空港着

B コース

8:20 集合 4階

8:30 出発

↓ バス移動30分 

9:00~10:00 〈60分〉

こんぼく
魂魄の塔(献花)
米須海岸

↓ バス移動10分 

10:10~12:10 〈120分〉

ひめゆりの塔・
ひめゆり平和祈念資料館

↓ バス移動40分 

12:50 那覇空港着

※訪問場所は同じですが、A・Bコースで順路が異なります。
A・Bコースは事務局で割りふります。ご了承ください。



MEMO

ゆっくり学ぼうコース

- ①=2日目(3月28日)の見学地
②=3日目(3月29日)の見学地

か かすたかだい

嘉数高台(普天間基地)

嘉数高台は首里の軍司令部を守るため、その一帯に第一防衛線として陣地を構えました。そのため沖縄戦でもっとも激しい戦いが行われ、4月8日からの16日間にわたる戦いで、日米両軍に多くの死傷者が出ました。

現在は、宜野湾市の中央部に米軍の普天間基地があり、嘉数高台公園にある地球型展望台からそこを見下ろすことができます。



ひめゆりの塔・ひめゆり平和祈念資料館

沖縄戦当時、沖縄には21の男女中等学校があり、すべて戦場に動員されました。女子は看護活動にあたり、そのうち沖縄師範学校女子部と沖縄県立第一高等女子学校が、ひめゆり学徒隊として222人の生徒と18人の教師合計240人が南風原の沖縄陸軍病院に動員されました。5月25日南部へ撤退命令が出されました。

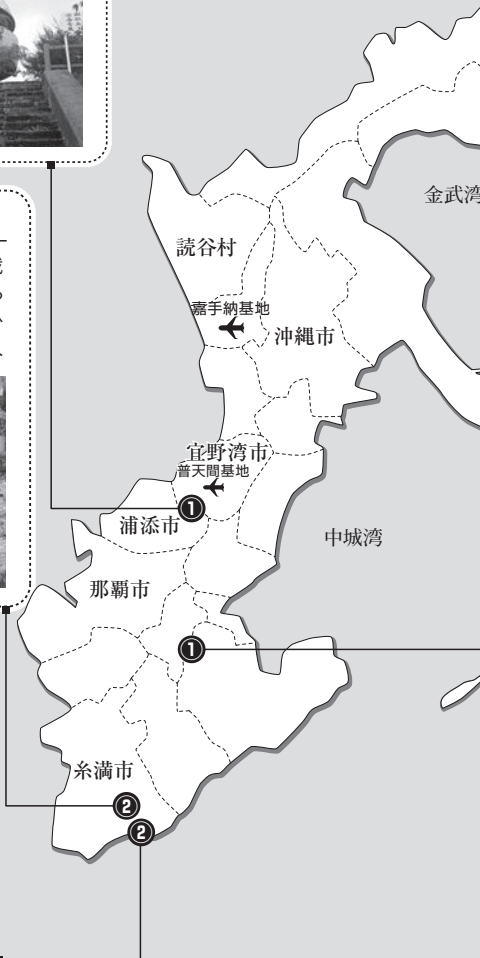
現在「ひめゆりの塔」が建っているのは第三外科が撤退後入っていた壕の上です。1989年その隣地に「ひめゆり平和祈念資料館」が建てられました。



こんぼく

魂魄の塔(沖縄で最初にできた慰霊の塔)

沖縄戦の終わりごろ、米軍の砲火に追われて、多くの人々が米須一帯に追い込まれました。沖縄戦が終わったとき、このあたり一面にたくさんの死体が折り重なっていました。1946年2月村長と住民が一緒になり、遺骨を集め、納骨所を作りました。素朴な石灰岩に「魂魄」という文字だけが刻まれたこの塔には、住民、軍人など、3万5千余りの遺骨が納められました。





辺野古(テント村)・瀬高の浜

1995年の沖縄米兵少女暴行事件を契機に、沖縄の米軍基地に反対する運動や普天間基地の返還要求運動が起こり、1997年には名護市辺野古付近への移設案が決められました。

その後、辺野古の海の埋め立てに対し反対の声が上がり、20年以上たった今もまだ普天間基地はそのままです。現在も県外移設を求める県民の間で激しい議論が交わされています。一人ひとりがこの基地問題を、沖縄だけのことでなく自分のこととして考えることが大切です。



南風原文化センター 沖縄陸軍病院南風原壕群(20号壕)

南風原陸軍病院は第32軍直属の沖縄陸軍病院で、約30の横穴壕が作られました。病院には、軍医、看護婦、衛生兵などのほか、3月23日からひめゆり学徒隊が加わり、戦場から次々運ばれてくる傷病兵の看護にあたりました。5月下旬撤退が決定し、重症患者は壕に残されました。

壕はほとんど埋没しましたが、20号壕、24号壕が発掘され、20号壕は2007年より一般公開されています。町立南風原文化センターには、陸軍病院壕の一部を再現し、多くの遺品が展示されています。



飯あげの道

陸軍病院と近くの集落を結ぶ「飯あげの道」と呼ばれる道は、動員された女子学生たちが米軍の砲弾をかいぐって、近くの集落で作られた食事や水を運んだ道です。





❖ 沖縄の地理・気候 ❖

場所

沖縄の場所をくわしく見てみましょう。



みなさんの住んでいるところに印をつけてみましょう。沖縄県的那覇市を中心にして円をえがくと、東京が香港と、福岡が中国の上海などと、ほぼ同じ距離にあることがわかります。

※ [時間 分] は、飛行機に乗ったときにかかる時間です。

あたしたちは東京に住んでいるから…、
ホンコンから来るのと同じくらいね

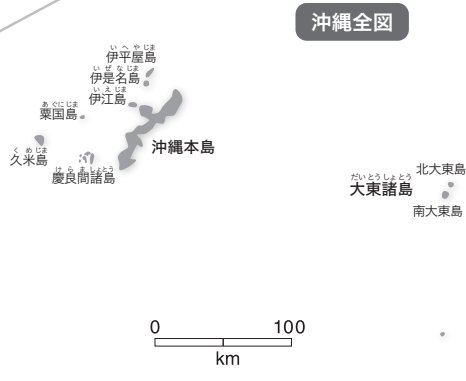
沖縄って、
遠いんだね





沖縄本島

沖縄県は、約160もの多くの島からなっています。これらの島々は琉球列島と呼ばれ、東西約1,000km、南北約400kmという広い範囲に分布しています。



沖縄全図

自然

日本の南に位置している沖縄の気候は亜熱帯

沖縄は年間の平均気温は約22℃、降水量は年間約2,000mmという、暖かく雨の多い亜熱帯気候です。冬でも15℃前後の暖かさで、10℃を下まわる日はほとんどありません。夏から秋にかけて台風が通過し、多くの雨をもたらします。

また、沖縄の島々を取り囲むようにサンゴ礁が発達しています。そこは「海の熱帯林」とも呼ばれ、多くの魚や貝類たちがくらしています。

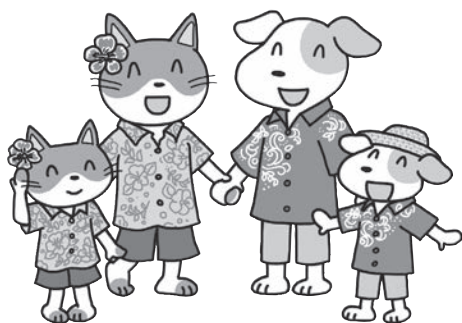
沖縄本島北部や離島の森林では、国内外でもめずらしい動植物や昆虫が生息しています。ヤンバルクイナなど絶滅危惧種に指定されている生物も数多く生息しています。



❖ 沖縄の文化 ❖

衣 かりゆしウェア

一年中あたかな気候の沖縄では、沖縄で作られた沖縄らしさを表現した軽装「かりゆしウェア」が着用されています。「かりゆし」は沖縄の方言で「めでたい」という意味をあらわしています。



1970年に沖縄観光連盟が「おきなわシャツ」として販売を開始。2000年に開催された九州・沖縄サミットを契機として広く着られるようになりました。沖縄伝統工芸の織物の柄や、沖縄独特の風物（シークワサー、シーサー）をモチーフにした柄もあります。

食 琉球料理

「琉球」とよばれた時代から東アジアのさまざまな国と交流していた沖縄は、食生活でも影響を受けました。特に、中国との交流を通して医食同源という考え方が広く浸透しています。

■**豚肉**：内臓から耳、足などすべてるところがないほど料理に活用されます。

代表的な豚肉料理に「ラフテー（豚の角煮）」や「てびち汁（豚足汁）」があります。

■**沖縄そば**：そばといっても麺は小麦粉で作られています。豚や鶏ガラ、カツオ節などからダシをとったスープはさっぱりとしています。

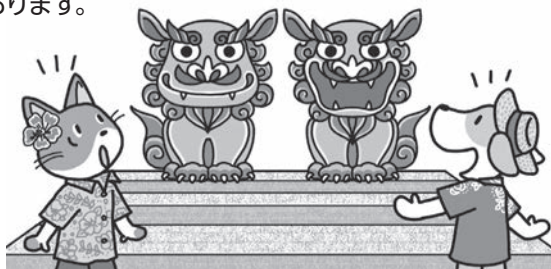
■**チャンプルー**：固くて大きな沖縄の豆腐（島豆腐）と季節の野菜などを合わせた炒め物です。ゴーヤやソーメンのチャンプルーが有名です。



住 沖縄の守り神“シーサー”

沖縄では、屋根の上や建物の入り口などに、守り神としてシーサーがよく置かれています。正面を見て口が開いているシーサーを右側、口を閉じているシーサーを左側に置くのが基本的な置き方といわれています。

屋根の上といえば、たくさんの水タンクが並んだ様子も見られます。沖縄は、以前よく水不足に悩まされました。そのため屋根の上に水タンクを置いて水不足にそなえているお家が多くあります。



伝統 芸能

沖縄の舞踊、音楽

沖縄は東アジアのさまざまな国の文化の影響を受けながら、独自の文化・芸能をつくりあげていきました。琉球舞踊や組踊（くみおどり）、沖縄の音楽に欠かせない三線（さんしん）など、琉球王国時代の文化が今でもしっかりと受け継がれています。



❖ 沖縄と日本と世界の主な出来事 ❖



年表

- 605年

沖縄

「琉球」という名前がはじめて中国史にあらわれる
- 1429年

沖縄

中山の王の尚巴志（しょうはし）が統一し、首里を本拠に琉球王国を建てる

14～15世紀ごろの琉球は北山（ほくざん）・中山（ちゅうざん）・南山（なんざん）の3つの地域に分かれ、勢力争いをしていた。
- 1609年

沖縄

薩摩藩（鹿児島）の島津氏に攻められ、支配下におかれる

もともと琉球は清（中国）と交流して中継貿易で栄えた国であった。一方、このころの日本（江戸幕府）は鎖国中であったが、琉球は薩摩藩の支配下でも清との関係は続いていた。薩摩藩や江戸幕府はそれを利用して間接的に清と貿易を行っていた。
- 1835年

沖縄

琉球国王第18代・尚育王が即位
- 1853年

沖縄

ペリーが琉球・那覇に来航

ペリーは神奈川県の大井町に来航する前に、琉球や小笠原諸島に立ち寄っている。琉球を植民地とする意図ももっていたが、1854年に幕府が和親条約を締結したため、計画は実行されなかった。
- 1872年

沖縄

琉球藩となる

琉球王国は江戸時代までは日清両属の形であったため、薩摩藩に年貢をおさめながら、清にも朝貢していた。明治維新後、琉球藩となったあとも清への朝貢をやめなかった。
- 1879年

沖縄

沖縄県となる（琉球処分）

1871年に琉球島民が台湾に漂着して殺され、1873年にも日本人が略奪を受けるなどの事件が発生した。こうした事件や征韓論の動きもあり、1874年に台湾に出兵し、清に対し琉球における日本の主権を認めさせた。



1894年 日清戦争が開戦し、日本が勝利する

1895年に下関条約が結ばれ、台湾が日本領となったことで、琉球問題が解消された。

1904年 日露戦争

1914年 第一次世界大戦がはじまる

20世紀に入ると、ヨーロッパの帝国主義諸国は海外に新しい植民地や資本投下先を求めて、ドイツ・オーストリア・イタリアの三国同盟とイギリス・フランス・ロシアの三国協商との対立が深刻化し、第一次世界大戦へと発展した。日本は大陸進出の好機とし、日英同盟を理由にドイツに宣戦した。

沖縄

1914年 首里一那覇間に電車開通

1929年 世界恐慌がおこる

第一次世界大戦がはじまると日本はそれまでにない好景気をむかえた。しかし、戦後のヨーロッパ諸国の復興によって1920年に日本では戦後恐慌がおこった。さらに、追いつけをかけるように1923年に関東大震災、1929年に世界恐慌がおこり、日本経済は大打撃をうけた。

1931年 満州事変がおこる

相次ぐ恐慌などによって植民地も国内資源も少ない日本では、重要な市場であった満州の確保に必死になり、満州を占領し、満州国をつくった。

1937年 日中戦争がはじまる

日本は中国に攻めたが、アメリカやイギリスが中国を助けたこともあり戦争は長期化した。軍部や政府は国力のすべてを戦争につぎこむため、国家総動員法など戦時体制づくりを本格的にすすめた。

1939年 第二次世界大戦がはじまる

日本と同じように植民地や資源が少なかったドイツやイタリアは領土拡大をはかり、第二次世界大戦に発展した。

❖ 沖縄と日本と世界の主な出来事 ❖

年表

- 1941年 — 太平洋戦争が始まる

アメリカ・イギリスは日本の進出をおさえるため、日本への石油輸出の禁止や経済封鎖を実施した。戦争を避けるためアメリカと交渉を続けるも成立せず、日本はハワイの真珠湾に奇襲攻撃し、アメリカ・イギリスに宣戦布告し、太平洋戦争が始まった。
- 1945年 — 沖縄 4月1日にアメリカ軍が沖縄本島に上陸

沖縄ではげしい地上戦が行われる。
8月6日に広島、8月9日に長崎に原子爆弾が投下される。8月14日にポツダム宣言の受諾を決定して、翌15日に日本は降伏した。
- 1950年 — 朝鮮戦争がおこる

日本はアメリカの後方基地となり、アメリカ軍は日本から朝鮮半島に進出した。沖縄は敗戦後、アメリカ軍の統治下におかれた（～1951年）。
- 1951年 — サンフランシスコ平和条約に調印

朝鮮戦争がおこるとアメリカは日本と講和して、社会主義陣営に対抗する体制を強めようとした。サンフランシスコ平和条約を調印し、日本は独立を回復した。しかし、沖縄・奄美・小笠原のアメリカ統治を認めた。
- 1952年 — 沖縄 琉球政府発足
- 1953年 — 奄美群島返還
- 1956年 — 日本が国際連合に加盟
- 1964年 — ベトナム戦争にアメリカが参戦（～1973年まで）
- 1968年 — 小笠原諸島返還
- 1969年 — 沖縄 アメリカが沖縄を日本に返還することに合意
- 1972年 — 沖縄 沖縄諸島が日本に返還
- 1992年 — 沖縄 首里城が復元される



- 2000年 沖縄 第26回主要国首脳会議（通称：九州・沖縄サミット）開催
 - 2002年 沖縄 沖縄美ら海水族館開館
 - 2003年 沖縄 沖縄都市モノレール（ゆいレール）開業
 - 2004年 沖縄 沖縄国際大学構内に米軍ヘリコプターが墜落
 - 2014年 沖縄 普天間飛行場をキャンプ・シュワブ沿岸へ移すための作業が始まる
 - 2016年 沖縄 名護市の海岸にオスプレイが墜落
 - 2017年 沖縄 辺野古沿岸部を埋め立てる護岸工事が始まる
 - 沖縄 東村高江に米軍ヘリコプターが不時着し、炎上
 - 沖縄 宜野湾市の小学校の校庭に米軍ヘリコプターの窓枠が落下
 - 2018年 沖縄 1月の1ヶ月間に米軍ヘリコプターの不時着が3件発生
 - 2019年 沖縄 2月24日（竹富町は23日）辺野古埋め立ての是非を問う沖縄県民投票が行われる
 - 2019年 沖縄 10月31日首里城が火災により焼失
- 正殿・北殿・南殿はほぼ全焼の被害となる。クラウドファンディングを中心に国内外から50億円を超す寄付が集まり、内閣府や沖縄県による復元計画が始動中。2026年の完成を目指している。
- 2022年 沖縄 沖縄本土復帰50周年



沖縄戦について

沖縄戦は、1931年の満州事変に始まる15年戦争の終わりの頃の戦いで、日本では硫黄島いおうじまに次いで住民を巻き込んだ地上戦になりました。

日本軍は太平洋戦争の初めのころ、東南アジア、太平洋の島々を占領していましたが、1942年のミッドウェー海戦に敗れてからは敗退を繰り返していました。いよいよ日本本土での地上戦が予想され、準備が進められました。

1944年3月に、沖縄守備軍（第32軍）がつくられ、兵隊たちが沖縄に集められました。学校が兵舎になり、それでも足りず民家も使われました。7月からは県外や県北部への集団疎開が始まりました。8月22日には対馬丸事件つしま丸（※）が起きています。10月10日には、沖縄全域で大空襲があり、那覇なはの街の約9割が焼かれてしまいました（10・10空襲）。その後もたびたび空襲がありました。（※）対馬丸事件の詳細は、p.28を参照。

沖縄戦のはじまり

アメリカ軍の最初の目標は、慶良間諸島けらましょとうを確保することでした。1945年3月26日に上陸、29日には慶良間諸島ちやたん よみたん全域を支配しました。

4月1日、沖縄本島の北谷、読谷の海岸に日本軍の抵抗をほとんど受けることなく上陸しました。アメリカ軍は1,500隻近い艦船と約18万人（補給部隊を合わせると約54万人）の兵員をもって沖縄本島に上陸を開始しました。それに対し、沖縄守備軍は老人や若者など沖縄の一般県民から召集した人を合わせても約11万人でした。ここから約3か月にわたる沖縄戦が始まりました。

中部からの激しい戦い

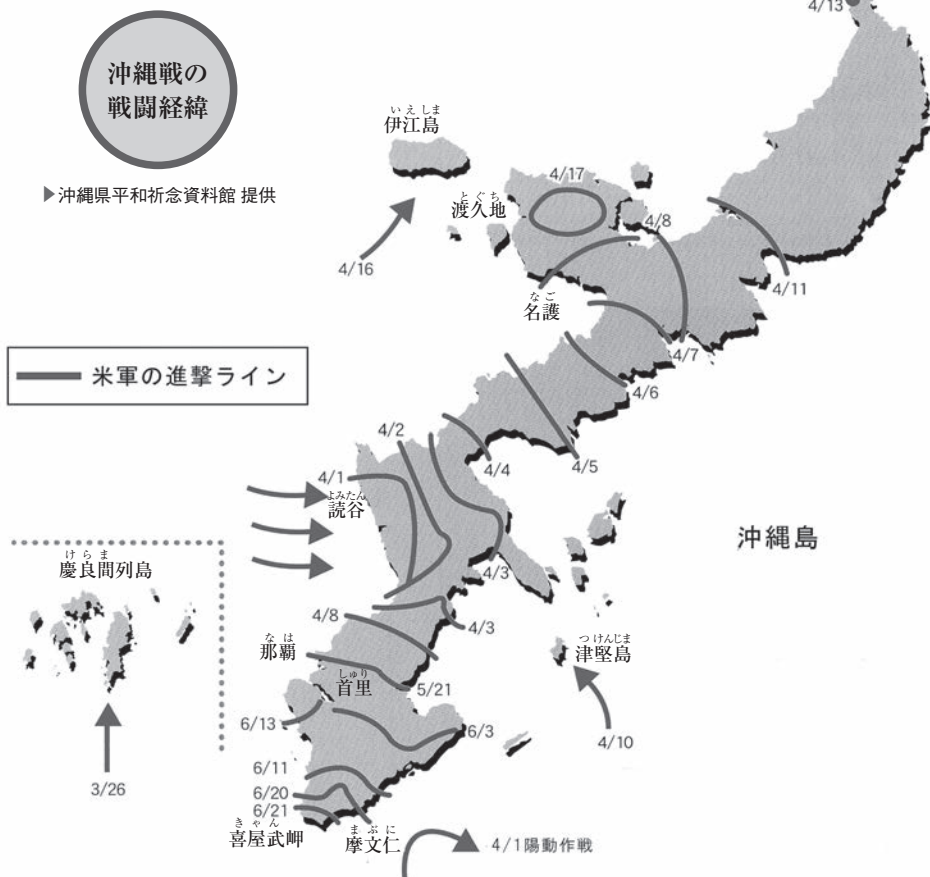
上陸したアメリカ軍の主力部隊は、4月7日ごろから陸軍第32総司令部のあった首里しゅりをめざし、総攻撃を開始しました。嘉数高台かかずたかだい、前田高地まえだこうち周辺を中心に一進一退の攻防戦が40日間も続きました。この戦いで沖縄にいた日本軍は戦力の8割を失いました。5月下旬、首里はアメリカ軍に占領されました。この激しい戦いに住民が多数巻き込まれて、多くの死傷者が出ました。

北部の戦い

北部では、中南部から多くの住民が疎開を受け入れたため、飢えとマラリアに苦しみました。沖縄本島を北上したアメリカ軍は、10日間で本部半島と辺戸岬まで達しました。山の中に逃げた兵隊たちが時折ゲリラ戦を続けましたが、多くの住民はアメリカ軍により、中～北部の収容所に収容され、早い時期から戦後の生活が始まっていました。

沖縄戦の 戦闘経緯

▶ 沖縄県平和祈念資料館 提供



南部の戦い

日本軍は本土決戦に備えるため、沖縄での戦いを一日でも延ばす事を目的に、司令部を首里から南部に移す作戦をとりました。5月末から6月にかけて、残った部隊と避難する住民は、アメリカ軍の激しい攻撃を受けながら南部一帯に逃げました。6月22日、牛島司令官は「最後の一人まで戦え」という命令を残して自決しました。日本政府は8月14日にポツダム宣言を受け入れましたが、沖縄では9月7日に降伏文書に署名するまで戦闘状態が続きました。沖縄戦で亡くなった住民は15万人以上にいきなり、特に南部では住民の犠牲者が多く出ました。

ひめゆり学徒隊

兵士も物資も足りない沖縄では、法的な根拠もないまま15歳未満の子どもや60歳以上の老人まで動員されました。将来への希望をたくさん持っていた15歳から19歳までの少女たちも、主に陸軍病院などの看護要員として戦場に送られました。

沖縄県立第一高等女学校と沖縄師範学校女子部の女生徒222人と教師18人は、は え ば ら南風原の沖縄陸軍病院で働くよう命令され、そのうち136人が犠牲になりました。



両校の生徒・先生たちを戦後「ひめゆり学徒隊」と呼ぶようになり、追悼のために「ひめゆりの塔」が建てられました。

ひめゆり学徒隊のほかにも、八つの女学校の生徒たちが同じような命令を受けました。



つ し ま ま る 対馬丸事件

1944年7月、沖縄県から本土に8万人、台湾に2万人の老人・女性・子どもの疎開計画が政府によって緊急決定されました。しかし、家族と離れて見知らぬ土地で暮らすことへの不安や、沖縄近海に米軍の潜水艦が出没していたことから、集団疎開はうまく進みませんでした。

8月に入りようやく第一陣が出発したのち、8月21日に第二陣が出発しました。翌22日に奄美大島近くの悪石島あくせき近海で、集団疎開船の一隻である対馬丸がアメリカの潜水艦の魚雷攻撃を受け沈没しました。この攻撃で学童825人を含む乗客約1,800人のうち、約1,500人が犠牲となりました。生存者は学童59人、一般168人でした。





集団自決と平和の礎

くらしていた町や村が戦場になったことで、沖縄の人々は日本軍とともに南へ逃げるしかありませんでした。

アメリカ軍の攻撃で多くの人が亡くなりました。一方で、スパイと疑われて殺された人や、投降しようとして殺された人、泣いている子どもが殺されるなど、味方と思っていた日本兵によって殺される事件がたくさん起こっていました。

その上、アメリカ軍の上陸によって、『いざという時には死ぬように』という日本軍の指示によって、地域全体、小さな子どもも含めた家族が殺しあう「集団自決」までも起こりました。

沖縄戦では65,000人の守備隊を含む約15万人以上もの島民が亡くなりました。

1995年に糸満市摩文仁の丘には沖縄戦で亡くなった人々を悼むために「平和の礎」という碑が建てられ、国籍や軍人・非軍人を問わず全ての戦没者の氏名が刻まれています。また、満州事変に始まる15年戦争の帰結であることから、その15年間に亡くなった人々の名前も刻銘されています。戦没者の追悼と平和祈念、平和の創造と交流をめざす沖縄の願いが込められています。



沖縄の米軍基地

	①在日米軍施設・区域(専用施設)面積 (2022年3月末現在)		②在沖米軍人数 (2011年6月末現在)	
	面 積	割 合	軍人数	割 合
沖縄県	184,525千㎡	70.3%	25,843人	70.4%
本 土	78,084千㎡	29.7%	10,869人	29.6%

③軍別構成割合 (2011年6月末現在)

	沖縄県		本 土	
陸 軍	1,547人	6.0%	1,070人	9.8%
海 軍	2,159人	8.4%	1,208人	11.1%
空 軍	6,772人	26.2%	6,371人	58.6%
海兵隊	15,365人	59.5%	2,220人	20.4%
計	25,843人		10,869人	

出典：沖縄の米軍及び自衛隊基地（統計資料集）令和5年7月（沖縄県）

沖縄の米軍基地や専用施設は31か所あります。日本全体にある米軍基地・専用施設総面積のうち70.3%が沖縄県に集中しています。沖縄県における米軍基地・専用施設の総面積は18,483ha（東京都八王子市と同じくらいの広さ）あり、沖縄県の総面積の約8%、沖縄本島の約15%の面積を占めています。

沖縄に駐留する米軍の軍人数の構成比は海兵隊：59.5%、空軍：26.2%、海軍8.4%、陸軍：6.0%と、多くが海兵隊です。海兵隊は、船や飛行機で戦場に一番最初に送られる軍隊を指します。（2012年以降米軍は沖縄に駐留する人数を公表していません）

陸上だけではなく、沖縄県およびその周辺には水域27か所、空域20か所が訓練区域として米軍管理下に置かれています。水域が約55,000km²で九州の約1.3倍、空域が約95,000km²で北海道の約1.1倍と、とても広い範囲で漁業や航空経路に制限などがあります。

在沖米軍 基地位置図

▶ コープおきなわ 提供



戦後から沖縄返還まで

太平洋戦争に敗戦した日本は、アメリカ軍を主力とする連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)に占領されました。占領方法は軍政ではなく、連合国軍最高司令官マッカーサーが指令・勧告などを出して日本政府に占領政策を実行させる間接統治でした。

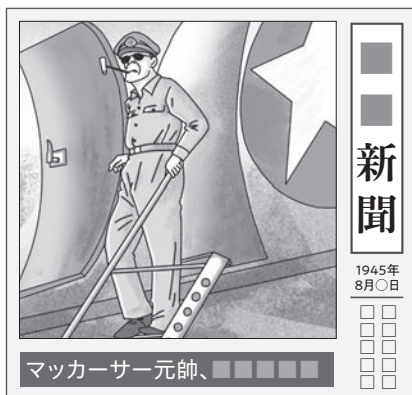
朝鮮半島は、北はソ連(現在のロシア)、南はアメリカに分割占領されていました。1948年に南の大韓民国(韓国)と北の朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)に分かれて独立しました。1950年に両国は北緯38度線付近で武力衝突しました(朝鮮戦争)。

朝鮮戦争勃発後、アメリカ軍は韓国側を援助するために日本駐在のアメリカ軍を送り、大量の軍需物資を日本に発注しました。

こうした動きからアメリカと日本は、1951年にサンフランシスコ平和条約を調印し、日本は独立を回復しましたが、沖縄や奄美、小笠原の各諸島のアメリカ統治を認めました。平和条約調印と同日、日本はアメリカと日米安全保障条約を結び、アメリカ軍は占領軍から駐留軍となりました。また、1952年に日米行政協定(現在の日米地位協定)を結び、アメリカ軍に広範な特権を与えました。

沖縄では琉球列島が日本から分離され、引き続きアメリカに支配されることがわかると、1951年に日本復帰促進期成会が結成され、わずか3か月の間に、全有権者の約7割(約20万)の署名が集められました。琉球政府の前身の一つでもある沖縄群島議会も復帰要請を決議して日米両政府に沖縄住民の意思を伝えましたが、まったく相手にされぬまま、米軍の施政権下におかれることになったのです。

「基地の島・沖縄」という状態が続くなか、1969年の日米首脳会談によって、核抜き・本土並みの条件で1972年にアメリカが沖縄を日本に返還することに合意しました。1970年には沖縄からも国会議員を選出するための選挙が行われ、1971年に沖縄返還協定を調印、1972年に沖縄復帰が実現し、沖縄県が発足しました。しかし、返還後の沖縄もアメリカ軍の「極東の要」としての地位を失ったのではなく、本土と比較にならない広大な基地は、現在も残されています。



沖縄返還まで27年も
かかったんだよな・・・



沖縄の米軍基地はどのようにして造られたのか

基地建設により、住民の多くは土地を有無を言わず奪われました。

1945年4月、沖縄本島に上陸した米軍は、降伏した住民を収容所に強制隔離し、土地の強制接収を行いました。そして、普天間飛行場の整備や旧日本軍の中飛行場を嘉手納基地とするなど、終戦前から次々と新しい基地を建設していきました。

太平洋戦争終結後も、朝鮮戦争の勃発など新しい基地が必要になると、武装兵らが住民を追い出し、家を壊し、田畑をつぶして新しい基地を建設していきました。

宜野湾市の中心部にある「普天間基地」は、アメリカ軍の拠点の1つです。海兵隊専用の基地で、2,800mの滑走路があります。基地の周辺には住宅地が密集し、学校も隣接するなど「世界一危険な基地」といわれています。



沖縄県外の米軍基地の大半が戦前の旧日本軍の基地をそのまま使用（国有地87.4%、その他12.6%）。

沖縄県では旧日本軍が使用した区域にとどまらず、公有地、民有地が占める割合が大きい（国有地23.3%、公有地37.1%、民有地39.6%）。

普天間飛行場が建設される前は、役場や学校、郵便局、病院、旅館、雑貨店などがならび、いくつもの集落が点在し、約14,000人の住民が住んでいました。住民が避難したり収容所にいる間に、米軍が土地を強制的に接収したため、戻ってきた住民は自分の故郷に帰りたくても帰れず、その周辺に住むしかないという状況でした。



米軍基地による問題

沖縄では、米軍基地に起因する事件や事故が繰り返し発生しています。航空機関連の事故は、返還された1972年から2017年までに約700件も発生しています。1959年には沖縄本島中部の石川市(現うるま市)にある宮森小学校に米軍戦闘機が墜落し、11人の児童を含む17人が死亡、210人が重軽傷を負いました。近年では、沖縄国際大学構内にヘリが墜落(2004年)、名護市の海岸にオスプレイが墜落(2016年)、宜野湾市にある普天間第二小学校の運動場にヘリの窓枠が落下(2017年12月)、相次いでヘリが不時着(2018年1月)、等の事故が毎年発生しています。

航空機は人命、財産にかかわる事故だけでなく、日常生活における騒音や環境の問題も発生しています。2015年に嘉手納基地、普天間基地の周辺で実施した航空機騒音測定結果では、会話ができないほどの騒音が1日何十回と発生しています。このような騒音問題は昼間だけでなく夜間にも発生し、多くの住民に影響しています。

1995年に小学生の少女が米兵3人に暴行される事件が発生しました。この事件を契機に、沖縄の米軍基地に反対する運動や普天間基地返還要求運動が



起こりました。日米両国政府は、沖縄県民の負担を軽減し日米同盟関係を強化することを目的とした「沖縄に関する特別行動委員会(SACO)」を設置し、1996年に普天間飛行場をはじめとする11か所の米軍基地を日本に返すことを約束しました。しかし、普天間基地の代替地として名護市辺野古の新基地建設が条件になったことから、地元住民の反対運動が始まりました。

2017年2月からはじまった辺野古新基地の埋立工事ですが、翁長雄志前知事の意向をうけて、沖縄県は2018年8月に辺野古埋め立て承認を撤回しました。しかし10月には、国は効力を一時的に止める執行停止を決定するなど沖縄県と日本政府の対立はますます深まる状況になりました。2019年2月24日、辺野古埋め立てに対する賛否を問う沖縄県民投票が行われました。投票率は52.48%で、「反対」は7割を超えました。しかし投票結果に法的拘束力がないことから、国によって翌月には新たな区画への土砂投入が開始されました。

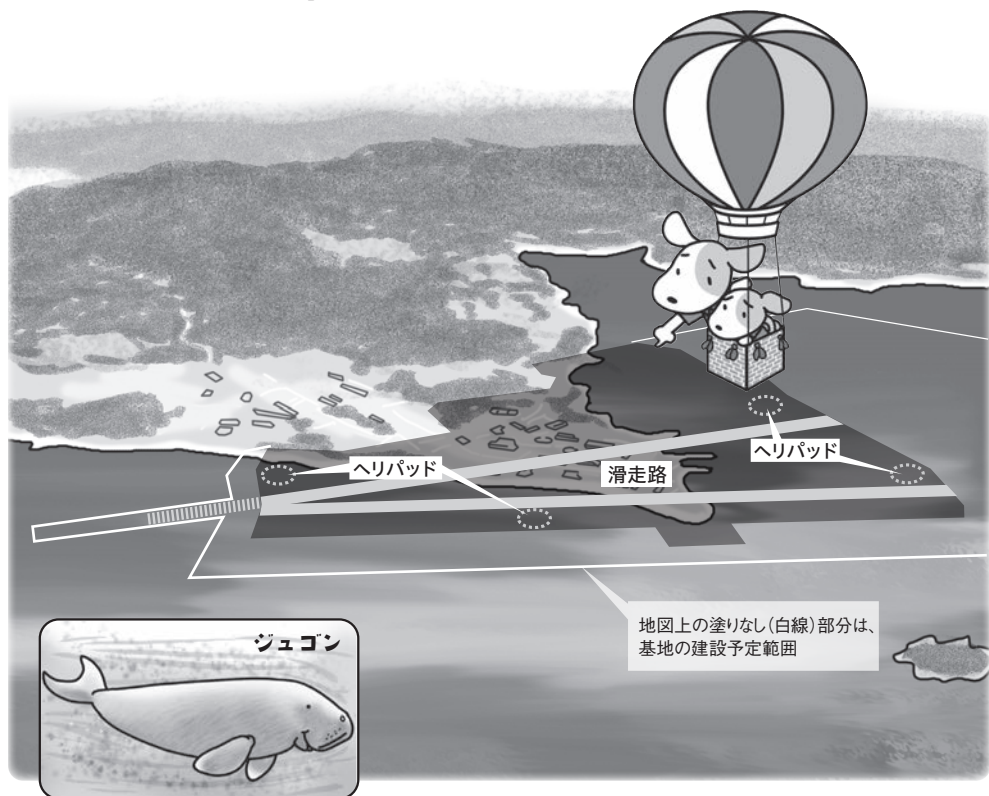
沖縄の負担軽減をどうするか、沖縄の人だけでなく、一人ひとりが基地問題を自分のこととして考えるべき課題です。

辺野古新基地建設問題（普天間飛行場移設問題）

名護市^へ辺野古^{のこ}の沿岸に新基地の関連工事が行われています。普天間飛行場から辺野古新基地へ移設されても沖縄県の負担は変わらず、根本的な解決にはなりません。

辺野古新基地の建設予定地である辺野古・大浦湾周辺の海域はとても美しい海です。5,800種以上もの生物が確認され、その中にはジュゴンをはじめとする絶滅危惧種262種も含まれています。基地が建設されることで、これらの生物への影響や、絶滅の恐れがあります。

影響は自然環境だけではなくありません。辺野古新基地には航空機用の燃料を運搬するタンカーが接岸できる燃料栈橋、約180mの船舶が利用できる護岸、弾薬搭載エリアなど普天間飛行場にはない機能が追加されます。そして辺野古新基地のすぐ近くには辺野古弾薬庫があり、基地そのものの性能が向上します。これがどのようなことなのか、よく考えてみましょう。



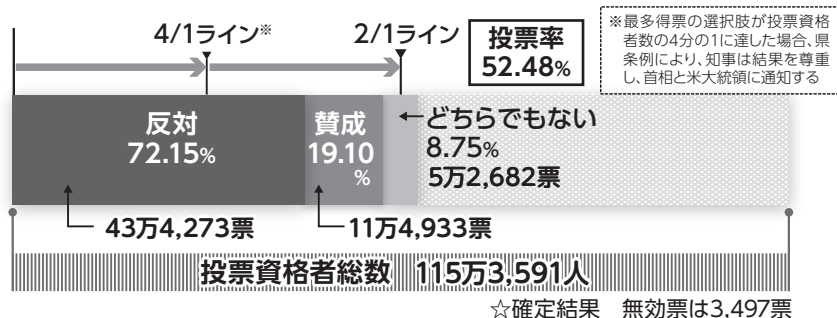
2019年沖縄県民投票から考える

◇県民投票を行うことになった経緯

1996年日米両政府は米軍普天間飛行場の全面返還について合意しました。その後、基地の代替地として名護市辺野古への新基地建設が返還条件になり、地元住民の反対運動が始まりました。国が辺野古への新基地建設を進める一方、2018年に移設を反対する玉城デニー氏が知事に選ばれるなど、国と県との間で議論が平行しています。このような状況下で、改めて移設問題に対して県民の「民意を示す」ために県民投票が行われました。

辺野古埋め立て沖縄県民投票の結果

- ・ 投開票日：2019年2月24日
- ・ 県内有権者は「賛成」「反対」「どちらでもない」を投票。
- ・ 投票率は52.48%、「反対」が有効投票数の72.15%を超える結果となる。



沖縄の人たちは様々な思いを抱えてそれぞれに投票しました。

賛成 「『反対』は全有権者数の過半数どころか、4割にも満たなかった」

「普天間基地の危険性除去」、「経済効果」、「埋立は止まらない」、「他に移転先がない」

反対 「『反対』の強い民意が示された」

「沖縄の過重な基地負担」、「政府の進め方」、「環境破壊」、「経済発展阻害」

(2019年2月24日NHKによる出口調査)

政府 「今回の県民投票の結果は政府として真摯に受け止めるものの、基地移転は

これ以上先送りすることはできない」と投票結果を受け入れない姿勢を示す。

そして、県民投票の翌月には新たな区画への土砂投入が開始される。

◇私たちが考えること

今回の県民投票では、これまで沖縄の人たちが移設計画に対して抱えてきた思いが示されました。論点となった米軍普天間飛行場移設問題は、沖縄だけの問題ではありません。国土面積の0.6%にすぎない沖縄県に米軍専用施設の約70%が集中していること、新基地建設費は税金が充てられることなど、私たちに密接に関係している問題です。学習や現地のフィールドワークを通して、知ることから始めましょう。そして、自分が沖縄に住んでいたらどう考えるか、いま住んでいる地域にこの問題はどんな影響があるか、様々な視点から考えてみましょう。



沖縄についてまとめてみましょう

沖縄戦跡・基地めぐりはいかがでしたか？ はじめて沖縄について知った人、また今までに行ったことがある人にとっても、新しい発見があったのではないのでしょうか。忘れないうちに沖縄で学んだことや考えたことをまとめましょう。



学んだことや考えたことをまとめましょう

〈参考図書〉



なまむしせいとく
沖縄戦にまきこまれた少年
の物語

田島征彦(たじま ゆきひこ)
童心社、2022年4月

〈参考資料〉

沖縄県ホームページ、沖縄から伝えたい。米軍基地の話。Q&A Book(沖縄県)、シグマベスト くわしい歴史 中学1～3年(文英堂)、いっきに学び直す日本史 近代・現代 実用編(東洋経済新報社)、改訂 ジュニア版 琉球・沖縄史(編集工房 東洋企画)、親から子へ語りつぐ おきなわ戦 戦跡ガイドブック(コープおきなわ)、沖縄県平和祈念資料館ホームページ、ひめゆり平和祈念資料館ホームページ、南風原町役場ホームページ、国営沖縄記念公園ホームページ、知る沖縄戦(朝日新聞社) など



ピースアクション in オキナワ

特設サイトもぜひご覧ください。



参加アンケート

全体会やフィールドワークのご感想をお寄せください。



CO・OPピースアクションX（旧ツイッター）、Instagram（インスタグラム）
下記サイトもぜひご覧ください。フォロー大歓迎です。



COOP_PEACE1978



COOP_PEACE1978

生協名

氏名



発行日 2024年2月
発行 日本生活協同組合連合会 社会・地域活動推進部
〒150-8913 東京都渋谷区渋谷3-29-8 コーププラザ
TEL.03-5778-8124